

NHK海外情報発信強化に関する検討会（第1回）議事要旨

1. 日時

平成26年8月29日（金）16時30分～18時00分

2. 場所

総務省7階 省議室

3. 出席者

（1）構成員

多賀谷座長、青山構成員、岡構成員、坂村構成員、鳶構成員、高島構成員、野上構成員、原構成員、平澤構成員、マリ構成員、水越構成員

（2）オブザーバ

水嶋外務副報道官（外務省）

（3）プレゼンテーション

板野専務理事（日本放送協会）、根本国際放送局長（日本放送協会）、門国際企画部長（日本放送協会）

（4）総務省

新藤総務大臣、桜井総務審議官、福岡大臣官房長、今林大臣官房総括審議官、安藤情報流通行政局長、渡辺大臣官房審議官、椿総務課長、長塩放送政策課長、湯本情報通信作品振興課長、金澤国際放送推進室長

4. 議事要旨

（1）新藤総務大臣挨拶

開会に当たり、新藤総務大臣より挨拶が行われた。

（2）国際放送の現状等について説明

①事務局

事務局より、資料に基づき、国際放送の制度と予算、放送コンテンツの海外展開等について説明が行われた。

②NHK

NHKより、資料に基づき、国際放送の実施状況等について説明が行われた。

(3) 意見交換（構成員の主な発言は以下のとおり）

【原構成員】

- ・ BBCの国際放送を研究しているが、BBCは非常に上手く、海外の優秀な人材を巻き込んで活用している。放送はスタッフの力も重要なので、NHKワールドも海外の優秀な人材をもっと多く登用するとよいと思う。ただ、会議がすべて英語になったりして、実現は難しい面も多々あるとは認識している。

【野上構成員】

- ・ インフラが整備されているのに、NHKワールドがあまり知られていないというのは、コンテンツに魅力がないからではないか。また、目が国内に向いているように思う。
- ・ 残念ながら、CCTV、アリランに比べ、ホテルで見にくい。
- ・ CCTVは内容はひどいが、チャンネルが沢山ある。

【高島構成員】

- ・ この5年でよく2億世帯を超える人達に視聴させることができるようになったと思う。
- ・ 見ている方々から放送に関してどういう印象を持ってもらっているか、意見を聴取することが今後役に立つのではないか。
- ・ 日本国内でも多くの人に見てもらい、意見をうかがえるシステムを作ることがさらなる発展につながると思う。

【鳶構成員】

- ・ この会議の中心は、一体、日本から何を中心メッセージとして発信していくのかということだと思う。
- ・ 日本が21世紀、近くは2020年のオリンピックに向かってどういうことを軸に発信するのかをもう少し共有すべき。戦後日本は経済成長と国民の豊かな生活が目標で、技術・科学立国、輸出立国などが国民目標だった。
- ・ いま日本全体が共有する軸が持っていない。共有できる目標、軸についても少し議論したらよいのではと思う。どこにコンセプトを置くかを絞り込むことも大事。

【坂村構成員】

- ・ ネット配信の強化が必要。今、メディアがネットに移っていつている。ネットの方がプロモーションしやすい。「いいね」ボタンを押して、拡散するような仕組みがない。ネットワーキングで他の人も巻き込んでいけるようなことも大事。
- ・ また、誰にどういう情報を出そうとしているのかを明確にした方が良い。
- ・ ホテルについては、外国に行ってもNHKが映らないというのは寂しい。リアルタイムでテレビを見るとしたらホテル。

【岡構成員】

- ・ これだけのインフラ、コンテンツを持っているのに成果が十分ではない。その原因は何かをいろんな角度で探るべき。日本のプレゼンスがどんどん下がっているが、その原因の一つとして、発信力不足があると思う。
- ・ BEA Jは、当面アセアンに絞って発信しプレゼンスを上げようという方針である。

- ・ インフラとして、放送コンテンツを流すことは大事であり、NHKワールドはそういう意味で重要。
- ・ ある程度、国の関与も必要ではないかと思う。

【青山構成員】

- ・ 日本そのものの発信力をいかに高めるかがポイント。
- ・ 政府にはNHKの内容に干渉する権限はないが、国民にはNHKをチェックする権利がある。本当は日本国民が国際放送の中身を見られるようにするのが第一だと思う。
- ・ ネットアプリを使いやすくするなどして、子供から高齢者まで、みんなが見られるようにしてほしい。
- ・ 中韓が反日を含めた宣伝工作がテレビを通じて行われている。立場の違いを乗り越え、右とか左とかではなく、考えていく必要がある。
- ・ キャパシティだけは増えているのにアルジャジーラのコンテンツに遠く及ばない。
- ・ 検討会を単なる検討だけでなく、前に進む事業に結びつけていく必要。

【平澤構成員】

- ・ コンテンツの中身とインフラの話を分ける必要がある。韓国は国家戦略で、文化と産業をセットで輸出している。何を放送するのかという、コンテンツの話もある程度議論しないといけないのではないか。

【マリ構成員】

- ・ アメリカの自宅でも、「NHKコスモメディアアメリカ」を通じて見ているが、古いテレビ番組を見せられているような感じがする。NHKの番組らしくない番組が流れている。
- ・ 「ピタゴラスイッチ」という番組が私は好き。日本人を象徴している番組だと思う。子供だけでなく、大人も感動できる。日本の四季や自然など、英語にすべき番組がたくさんある。また、番組構成も、子供向け番組を夜中3時に放送している例がある。
- ・ 子会社を含めて、NHKとしてどう世界に発信しようとしているのか。

【水越構成員】

- ・ テーマは発信とあるが、受信してもらえなければ意味がない。どう受信してもらうか、誰に何を受信してもらうかをもう少し考えてほしい。
- ・ 外国人のどういう人が見ているか、どういう人に見てほしいか。興味のない人はいくら流しても見ない。ネットを使ってメディアにアクセスする人も多いと思う。メディアミックスも考えていくべき。
- ・ どこにどれくらいのお金を使っていくか、を重点的に考えていくべき。インフラに使うのか、コンテンツに使うのか、日本人向けを強化するのか、外国人向けを強化するのか。それによってお金の使い方が変わってくる。効率的に使う必要がある。